

図書だより

新年がスタートしました！2026年も皆さんの「知りたい」を応援します。今年も図書館をよろしく願います(o^—^o)

生成AIは本当に正しい？

最近では調べものやレポートの作成にAIを使う人が増えているようです。インターネットの検索でも、トップに「AIの回答」が出てきてしまいますね。でもAIが出す答えはいつも正しいとは限りません。だからこそ、自分でしっかり調べ、精査し、考え、確かめる力がとても大切です。AIはうまく活用すれば便利な道具。情報を見極め、使いこなすスキルを身につける一年にしましょう。図書館は読み物の本があるだけでなく、情報に触れる場所です。調べ方などに困ったらいつでも相談してください◎

調べものに役に立つ(かもしれない)インターネットツール Vol.3

★政府の公式ページを調べたいとき→ 検索ワードに「site: go.jp」 を加える

★自治体の公式ページを調べたいとき→ 検索ワードに「site:lg.jp」 を加える

例) 「アニメ site: go.jp」 🔍 ※go.jp=government of japan /lg.jp=local government の略です。覚えやすいですね！

★e-Stat (政府統計の総合窓口) <https://www.e-stat.go.jp/>

★「やまなしの統計」(山梨県統計調査課) https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/

Vol.1,2はブレンドで配信済みの図書だより8月号、10月号をご覧ください。

年始イベント開催中！

○本の福袋

先生、図書委員、司書が選んだ本がテーマごとに3冊セットになっています。中身は袋を開けてみてのお楽しみ。自分では手に取らない本と出会えるかもしれません！
読書の幅を広げましょう♪



○図書館絵馬

新年に達成したいことや願い事を書いて飾りましょう。部活の目標、読みたい本、挑戦したいことなどなんでもOK！

○おみくじ

カウンターに用意しています。今年の運勢を占ってみましょう！



※～1月23日の期間中、本を借りてくれた人にはお年玉プレゼントを進呈中！

☆ 図書委員3年 長田愛梨 さんのおすすめ本

『現代用語の基礎知識 学習版 2025-2026』

(現代用語検定協会/監修、自由国民社)

「現代用語の基礎知識 学習版」は、ニュースでよく聞く言葉の背景までわかりやすく解説してくれる一冊です。これを読んで用語の理解が深まり、小論文や時事問題の学習にもとても役立ったと感じました。いろいろな分野があるので自分が興味のあるページを開いてみるのもいいと思います。ぜひ手に取ってみてください。

(031/7/2025)

☆ 図書委員1年 佐藤聡司 さんのおすすめ本

『ゴールデンスランバー』

(伊坂幸太郎/著、新潮社)

事件が起きた。金田首相のパレードに爆弾が投下された。

少し前、青柳雅春は、森田森吾と話していた。そして、話す中で青柳雅春は森田森吾のただならぬものを感じる。

遠くで空気が破裂し、振れるのを感じた。近くに警官が立っていた。銃声があった。事件に巻き込まれる青柳。ぜひその真相を見て欲しい。

(913.6/イ)

山本周五郎賞、
本屋大賞受賞！

メディア化作品！

☆ 図書委員1年 にそくのわらじ さんのおすすめ本

『キングダム』

(原泰久/著、集英社)

私がこの本をおすすめする理由はキングダムという本は、春秋戦国時代を参考に描かれた本で、読むだけで歴史の勉強をすることができるし、単純にこの本がおもしろいからです。内容は主人公である信が低い身分から、武功をあげて天下の大將軍を目指すというものです。信と仲間たちと一緒に成長していく姿はとても感動します。ぜひ読んでみてください

(マンガ 726/ハ)

※現在、最新刊の77巻まで所蔵しています。一気に読みしてしまいましょう！

☆ 図書委員1年 ぬかにごすんくぎ さんのおすすめ本

『有名すぎる文学作品をだいたい10ページくらいの漫画で読む。』

(ドリヤス工場/著、リイド社)

私がこの本をおすすめする理由は本を読むことが苦手な人でも読みやすく、読書に関心を持つことへのきっかけになってくれるだろうなと思ったからです。有名な作家の有名な作品ばかりがのっているので、この話ってこんなかんじの内容だったんだと思うことが多々あり、読んでいて非常に面白かったです。図書館に来たら、ぜひ手に取ってみてください！

(マンガ 726/ト)

図書館では本のリクエストができます。吉高にない本をほかの図書館から取り寄せたり（相互貸借）、購入したりすることができます。

カウンターで司書に申し込んでください。



『ネット情報におぼれない学び方』

(梅澤貴典／著、岩波書店)

確かな情報で考える術を学べば、鬼に金棒！ ネット時代の学びに即した情報の探し方や使い方、さらにはアウトプットの仕方を、図書館司書の見地から丁寧に解説する。(新書002.7/ウ)

『図解でわかる14歳から考えるAIの未来と私たち』

(インフォビジュアル研究所／著、三笠書房)

AIが人間を凌駕する、そんな未来でAIは人を「幸せ」にできるのか？ AIの歴史、基礎知識から、AIで変貌する仕事、AIと人間の未来までを、豊富なカラー図版とともに解説する。(007.1/イ)

『はじめてのニュース・リテラシー』

(白戸圭一／著、筑摩書房)

フェイク、陰謀論、偏向、忖度、感性のズレ…。 「事実」はなぜ歪んで/偏ってしまうのか？ 誰もが情報発信する時代、「情報」とどのように付き合っていけばよいかについて、平易な言葉を使って考察した入門書。(新書070/シ)

『正しく疑う』

(池上彰／監修、Gakken)

いまや誰もが発信者の時代。気を付けないと自分が加害者になることもあります。また、情報の受け取り方にもコツが必要です。情報との向き合い方、発し方を、マンガやイラストでわかりやすく紹介します。(361.4/イ)

『実践自分で調べる技術』

(宮内泰介／著、岩波書店)

複雑で、情報過多な今を整理する！ 調査の設計から、文献・資料の扱い方、聞き取りの方法、データの整理、発表や執筆まで、練習問題を交えながら、調査を意義あるものにする手順とコツを詳しく解説。リスク調査も取り上げる。(新書002.7/シ)

『ぼくたちはChatGPTをどう使うか』

(東大カルペ・ディエム／著、三笠書房)

読書感想文の高速フィードバック、英文を作ってもらってシャドーイング…。東大に合格している人たちがどのようにChatGPTを活用していたのかを取材し、“いい使い方・ダメな使い方”を生徒と先生の会話形式で解説。(007.1/ト)

『AIにはない「思考力」の身につけ方』

(今井むつみ／著、筑摩書房)

私たちは文章を読みながら思考力を使っている。その時に頭の中で働くのは「推論の力」だ。この力は人間だけにありAIにはない。その違いと謎を解き明かす。(141.5/イ)

『レポート・論文をさらによくする「引用」ガイド』

(佐渡島紗織ほか／著、大修館書店)

引用の形式的な側面よりも、内容的な側面を重視したテキスト。レポートや論文を書くときに必要な「引用」の意義と方法に焦点を当てて解説する。(816.5/レホ)

再掲



3年生注目!!!!!!

高校図書館利用のラストチャンス

2月は自由登校のため、3年生は【1月までで貸出を終了】します。受験の参考になるような本や、息抜きに眺める本もあります。
2月に入ってからは返却のみの受付になりますので、今のうちにたくさん活用してください！

※図書館の本を借りている人は、卒業前に必ず返却に来てください。

「何の本を借りているか忘れてしまった…」 「本を全部返しているか確認したい！」 「借りたはずの本が見つからない…」 など何かあれば図書館進藤まで！

あたたかく体調を整えて過ごしてください